

ビーだま

ビーだまのように、キラリと光る一冊を

2023 年 1 月～12 月に発行された本の中から、とくにおすすめの本を紹介ししょうかいます

<編集・発行> 富山市立図書館 富山市西町 5 番 1 号
電話 076-461-3200
令和 6 年 4 月 23 日発行（年 1 回発行）



なかまカナ？

新井爽月／作 浅沼とおる／絵 フレーベル館



4 年生の始業式の日。栗田陸くりた りくのクラスに、アメリカから転入生がやってきました。転入生の名前は、武藤トムむとう。「よろしくしろよ！」とあいさつしたトムは、回文が大すきです。陸とトムは、おたがいの名前が回文になっていることをきっかけに、なかよくなっていきます。でも、自分に自信じしんがもてない陸は、いつも前向きなトムのことをうらやましいと思うようになりました。

回文…上から読んでも下から読んでも同じ言葉のこと

おとな体験授業？ たいけんじゆぎょう

なかがわちひろ／作 アリス館



特別授業で、あすかは「どんな大人になりたいか」を紙に書くことになりました。「マンガ家になりたい」と書いたあすかは、先生が用意した金色の液体に紙を入れます。すると教室はけむりにつつまれ、気がつくと、あすかはなぜかラーメン屋で大人といっしょにはたらいっていました。



ブックキャット ネコのないしょの仕事！

ポリー・フェイバー／作 クララ・ヴリアミー／絵 長友恵子／訳 徳間書店

黒ネコのモーガンは 1940 年にイギリスで生まれました。当時は戦争中で、町にはたくさんのぼくだんが落とされました。家族をなくし、おなかをすかせたモーガンは、ネズミを食べるために出版社にしのびこみます。

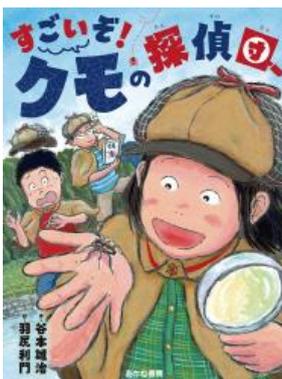


実在したネコをモデルにした、本を愛する〈ブックキャット〉モーガンのお話です。



すごいぞ！クモの探偵団 たんていだん

谷本雄治／作 羽尻利門／絵 あかね書房



転校生の加奈は、同じクラスの悠斗と大地にさそわれて、虫の研究コンクールにおうぼすることになりました。3人の研究テーマはクモです。大地がクモぎらいになった原因である〈クモ事件〉のなぞを調べます。ある日、町の人から「クモは害虫をとってくれる」と教えてもらった3人は、畑に行き、クモをかんさつすることにしました。

サンタクロースは空飛ぶ宅配便ではありません

市川宣子／作 高橋和枝／絵 ポプラ社



三太はくつ箱を見てため息がでました。1年生が「クリスマスにほしいもの」を書いた手紙を入れてくるのです。三太は、たまたま見つけたサンタクロースあてのポストに手紙を入れました。するとトナカイがあらわれて、「行方不明のサンタクロースの代わりにプレゼントを配るように」と話しかけてきたのです。



猫丸神社のひみつ

西村友里／作 ゆーちみえこ／絵 国土社

幹人は、総合の授業で猫丸神社のれきしを調べることにしました。けれども、神主である幹人のじいちゃんも、図書館のボランティアさんも、だれも神社のれきしを知りません。ある日、幹人がじいちゃんの手伝いをしていると、奥宮の板かべに文字と絵が書かれていることに気がつきます。



パパがしげみになった日

ヨーケ・ファン・レーウエン／作 野坂悦子／訳 岡本よしろう／絵 ほるぷ出版



戦争が始まるまで、トダはパパと2人でくらしていました。パパが戦争に行き、トダは、となりの国に住んでいるママの家へにげることになりました。けれども、トダはママのことをあまり知りません。

トダは、ママの住所が書いてあるノートと写真を持って、バスに乗りました。

ポラン先生ときけんなマジックショー

北川佳奈／作・絵 小学館



タヌキのポランは、北国の森でひっそりとくらし
ている売れない小説家^{しょうせつ か}です。ある朝、マジシャンのカ
モ、ドリがとつぜん家にとびこんできました。お金が
ないので南国のビーチにつれて行ってくれというの
です。ポランはドリを追い出そうとしますが、ドリは
いっしょに旅をしようとさそってきます。



なんてくさいんだ！ ロンドン^{すく}を救ったジョゼフの物語

コリーン・ペフ／文 ナンシー・カーペンター／絵 金原瑞人／訳 あかつき教育図書

1858年の夏、テムズ川はうんちだらけでした。当
時は下水道にうんちを流せなかったので、人々は川
に直接流したのです。するとロンドンはくさくなり、
コレラという病気も流行しました。

この問題を解決^{かいけつ}したのは、ロンドンをきれいにし
たいという夢^{ゆめ}をもつ土木技師^{とほくぎし}のジョゼフでした。



黒部^{くろべ}の谷の小さな山小屋

星野秀樹／写真・文 アリス館



トロッコ列車をおりて、けわしい山道を進んだ先
に阿曾原温泉小屋^{あそはらおんせんごや}という山小屋があります。小屋は7
月半ばから、たくさんの登山者を受け入れます。です
が毎年11月になると、小屋はかたづけられます。雪
がたくさんふる黒部の谷では、その重みで小屋がお
しつぶされてしまうからです。小屋をかたづけ、たて
直す様子を写真でしようかいたします。